

## 里山資本主義を奈良に ～不安を希望に～

【日 時】 2013年11月16日（土）13:30～16:30

【場 所】 桜井市立図書館

【参加者】 75名

【ゲスト】 井上 恭介さん

NHK 広島放送局 報道番組チーフ・プロデューサー。

1964年生まれ。東京大学法学部を卒業し、1987年NHK入局。

静岡局・報道局・大型企画開発センターなどを経て、2011年から広島局。

主な制作番組

NHK スペシャル

「オ願ヒ オ知ラセ下サイ～ヒロシマ・あの日の伝言～」

「マネー資本主義」

「黒い雨～活かされなかった被爆者調査」など

### 1. 基調講演 「里山資本主義のススメ」井上 恭介さん

各地域の里山資本に関わるいろいろな取組みについて説明をいただきました。

木質バイオマスだけではなく、地域の特産品を活かした取り組みの事例や、都市部でできる里山資本主義など、いろいろな取組みを時折「里山資本主義」の映像を使いながら、先進のものを紹介していただきました。各地で点の動きはたくさん起きている。それを結集することで、里山資本の考え方で地域課題を解決し、さらにそれぞれの地域が豊かになることができると話されました。



## 2. 対談 「里山資本主義を奈良に～不安を希望に～」井上 恭介さん × 村上 良雄

休憩の間に、参加者のみなさんに質問を書いていただきました。みなさんの質問状を基に、「マネー資本主義に対抗する言葉として、里山資本主義を取り上げるきっかけになった動きをご説明いただきたい」、「『地産地消』というキーワードと、『六次産業化』というのを取り入れてはどうか」、「経済成長のない社会自体を否定する意見があるが、その辺の考え方についてもう少しお聞かせいただきたい」、「里山ビジネスというのは成り立つのでしょうか」、「里山資本主義の本の中で、地方の社会福祉法人が地域のお年寄りがつくった農作物を買い取り、それで施設の食堂をまかない、買い取ったお年寄りには地域通貨で支払うというエピソードがあったが、地域通貨は今でも広がりつつあるのか」、等の質問に、まず井上さんに答えていただきました。

続いて村上より奈良県の課題として、木質バイオマス関係の話を行いました。奈良県は77%が森林で、そのうち60%が杉や桧などの人工林です。化石燃料や電気等、ほとんどのエネルギーは買っています。自前で地産地消の再生可能エネルギーを生み出すことができないか、森林資源を活用して電気や暖房などの熱エネルギーをつくりだすなど、奈良で「里山資本主義」の考え方を実現しようという思いを披露し、井上さんと議論しました。

また、現在の国の動向などいろいろな情報や、化石燃料に頼らない里山資本主義を実現させるためにはどうすれば良いかなどについて対談し、井上さんより他地域の取組み取材をヒントにお話をいただきました。



多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。

ありがとうございました。